

2-2 春日部市の観光の実態

本計画を策定するにあたり、国内観光市場の概要を全体的に見渡すとともに、本市の観光の現状を把握するための観光市場や消費者意向に関する調査（インターネットおよび来訪者調査）を実施し、その結果を整理しました。

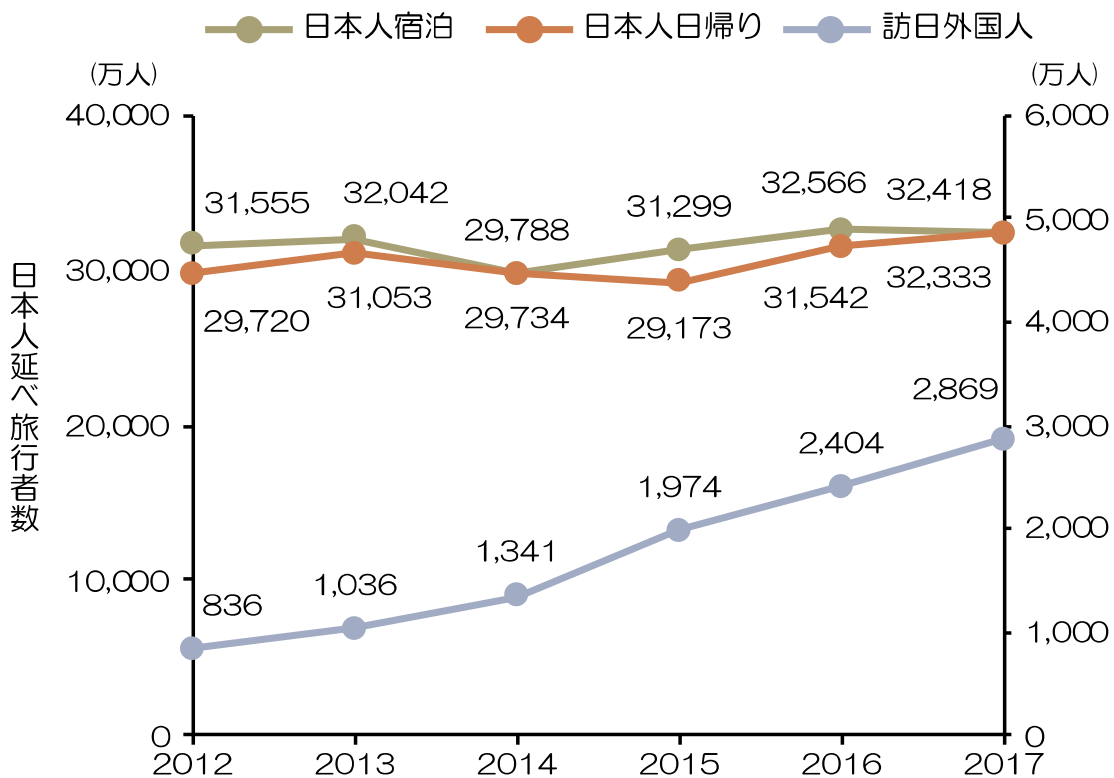
1. 国内の観光の状況

(1) 日本国内の旅行市場

国内旅行の市場規模は、宿泊旅行・日帰り旅行がそれぞれ3億人前後となっており、直近の5年間は横ばいで推移しています。将来的には、人口減少の影響により、国内旅行市場規模は微減傾向をたどっていくことが予想されています。

一方、訪日外国人旅行者数の状況は、2012（平成24）年からの5年間で旅行者数は3倍以上に成長しています。年平均成長率はプラス28.0%となり、今後も堅調な伸びが期待されます。

図1：国内延べ旅行者数・訪日外国人旅行者数



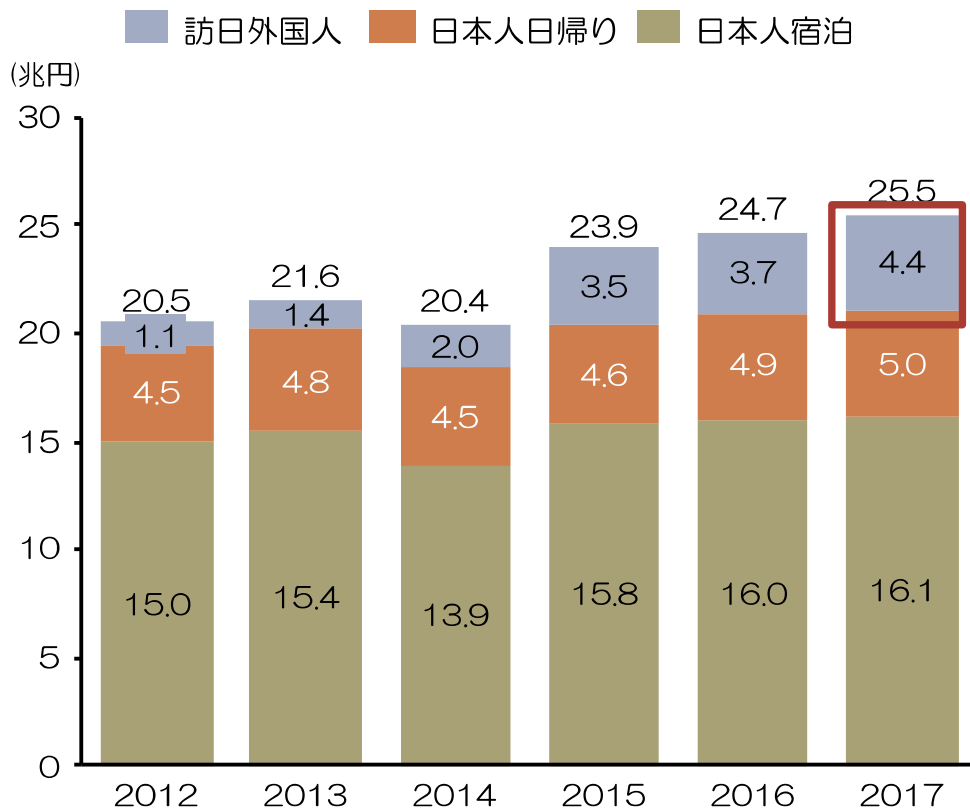
■2012年から2017年にかけての年平均成長率（旅行者数）

日本人宿泊	日本人日帰り	訪日外国人旅行者
+0.5%	+1.8%	+28.0%

出典：「旅行・観光消費動向調査」「訪日外国人旅行者消費動向調査」（観光庁）／日本政府観光局（JNTO）

旅行消費額においては、訪日外国人旅行者の増加が顕著で、2017（平成29）年の消費額は4.4兆円となり、日本人日帰り旅行の消費額（5.0兆円）の規模に迫る規模となっています。

図2：旅行消費額



■2012年から2017年にかけての年平均成長率（旅行消費額）

日本人宿泊	日本人日帰り	訪日外国人旅行者	合計
+1.4%	+2.1%	+32.0%	+4.5%

出典：「旅行・観光消費動向調査」「訪日外国人旅行者消費動向調査」（観光庁）／日本政府観光局（JNTO）

国内宿泊旅行（日本人のみ）の平均泊数は、2017（平成29）年で約2.3泊となっています。

表1：平均旅行日数（単位：泊）

	2012年 (平成24年)	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)
平均 泊数	2.27	2.24	2.20	2.35	2.19	2.31

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」



【春日部の文化を学ぶ外国人観光客】

(2) 訪日旅行市場

訪日旅行市場の規模は、直近の5年間で加速度的な増加を見せ、2017（平成29）年には前年比19%増となり2,800万人を超えました。

訪日外国人旅行者数を国籍、地域別にみると、すべての地域で過去5年間の平均成長率は10%超となっています。特に、中国や香港、東南アジア・インドなどのアジア諸国の成長率が30%超と高く、市場規模も大きいことから、アジア各国が日本のインバウンド*^①市場の成長を牽引していることが見てとれます。

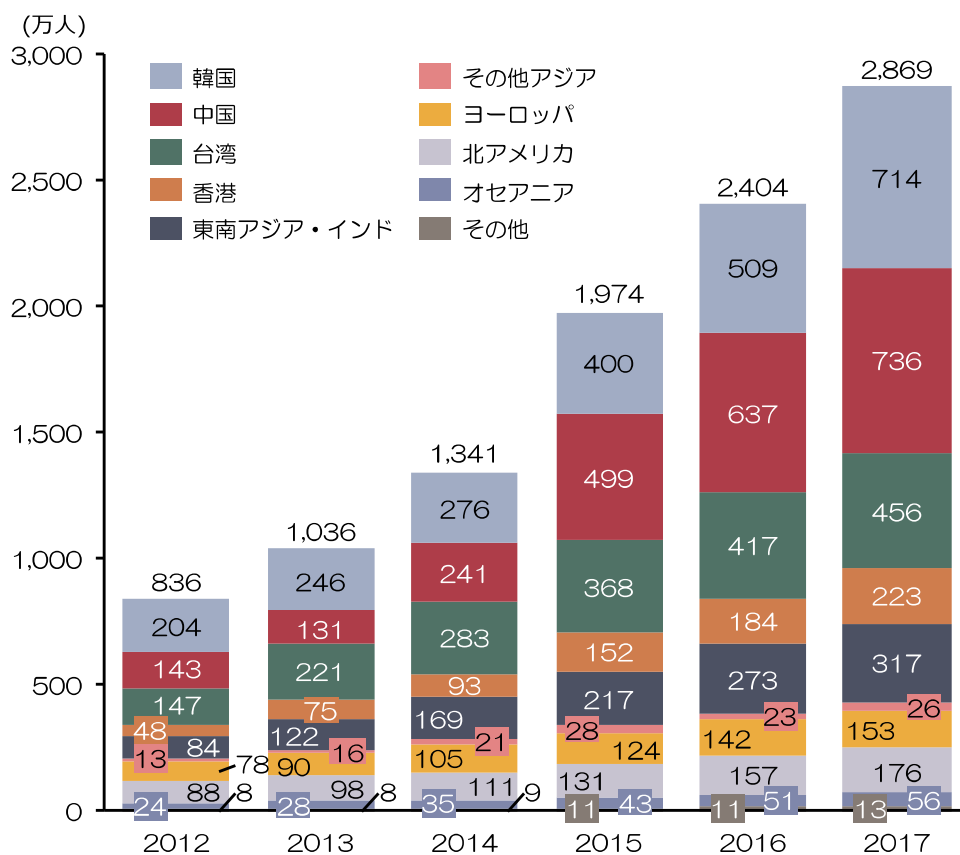
現時点では、韓国、中国などの近隣アジアのシェアが大きいものの、今後、中長期的に、欧米豪などの遠距離客や、タイをはじめ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、フィリピン、インドなどの東南アジア新興市場の堅調な成長が期待されています。



【伝統工芸品を楽しむ外国人観光客】

*^① インバウンド：（Inbound）外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行者または訪日旅行という。これに対し、自国から外国へ出掛ける旅行をアウトバウンド（Outbound）または海外旅行という。

図3：訪日外国人旅行者の国籍・地域別旅行人数



■国・地域別の2012年・2017年旅行者数と年平均成長率

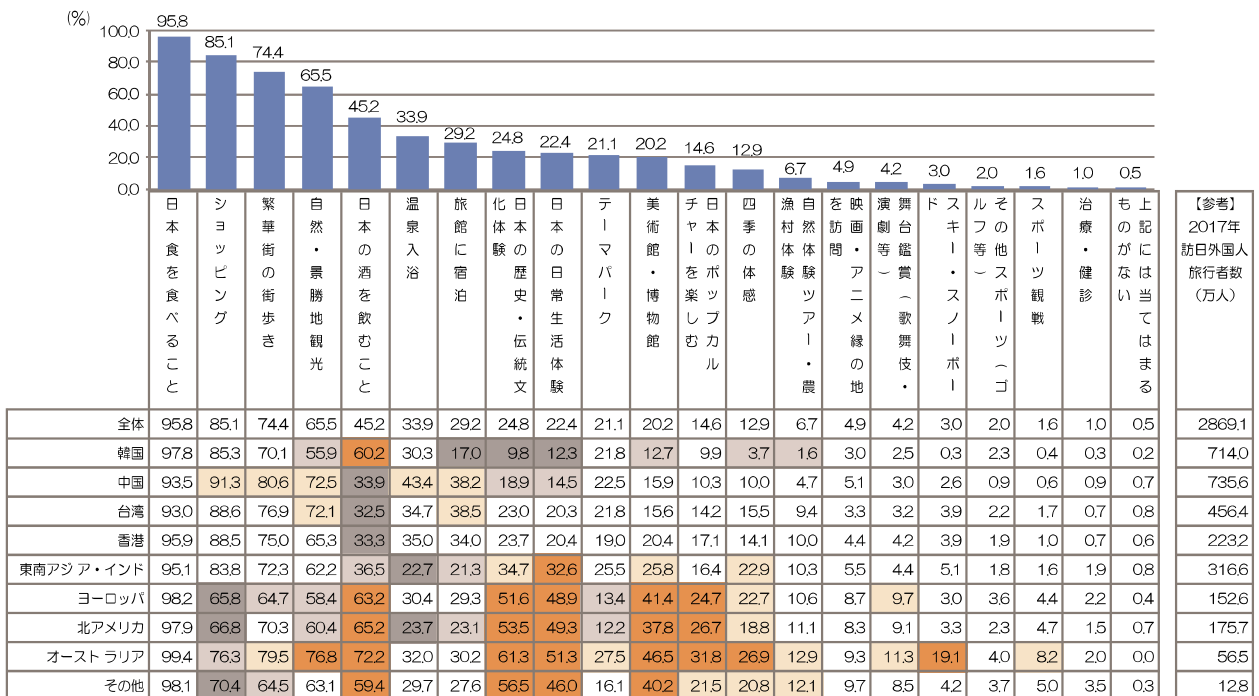
国・地域名	2012年 (万人)	2017年 (万人)	2012年⇒2017年 年平均成長率
韓国	204	714	+28.4%
中国	143	736	+38.9%
台湾	147	456	+25.5%
香港	48	223	+35.9%
東南アジア・インド	84	317	+30.3%
その他アジア	13	26	+14.9%
ヨーロッパ	78	153	+14.5%
北アメリカ	88	176	+14.9%
オセアニア	24	56	+18.5%
その他	8	13	+10.8%
合計	836	2,869	+28.0%

出典：日本政府観光局（JNTO）

訪日外国人旅行者が日本滞在中に行った活動については、「日本食を食べる」がすべての国籍・地域別で最も高くなり、以下「ショッピング」、「繁華街の街歩き」と続いています。

国籍・地域別に比較すると、欧米豪の旅行者は、「歴史・伝統文化体験」、「日常生活体験」、「ポップカルチャーを楽しむ」など、日本の文化そのものを体験することを楽しんでいる様子が見えます。

図4：訪日外国人旅行者が日本滞在中に行ったこと



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

2. 埼玉県観光の状況

2016（平成28）年における埼玉県の観光入込客数は、約1億700万人です。日帰り旅行者が主流で、特に「県内日帰り客」の比率が全体の7割近くを占めています。直近5年間の成長率については、「県外日帰り客」の数値が比較的高くなっています。

旅行消費額については、「県外日帰り客」の占める割合が観光入込客数の割合に比べ高いという特徴が見られます。

訪日外国人旅行者が占める割合は、観光入込客数、旅行消費額ともに極めて小さいものとなっています。

図5：埼玉県の観光入込客数



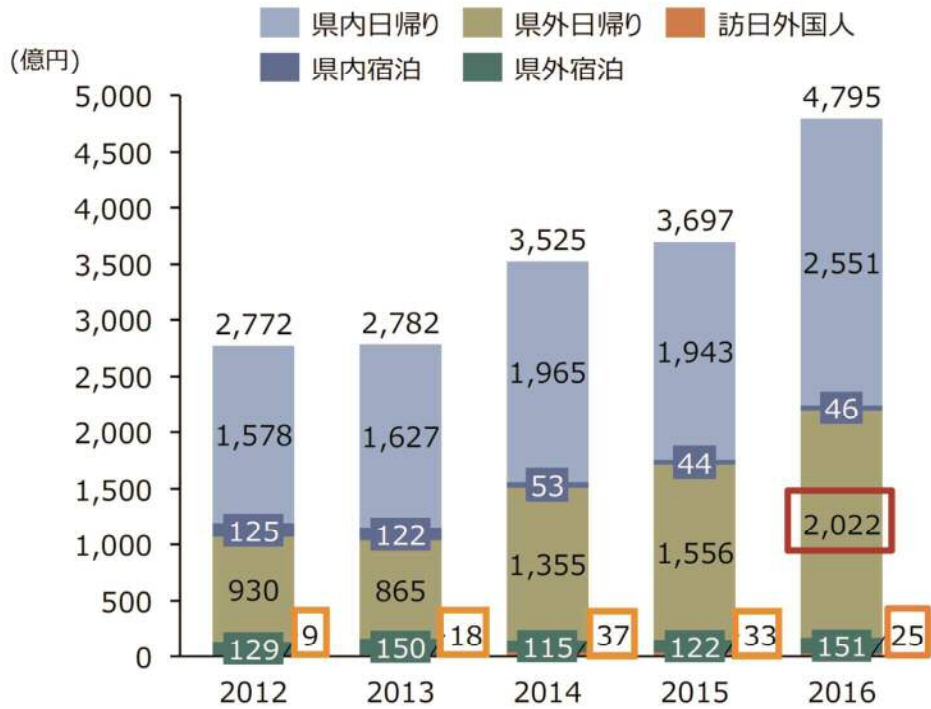
■2012年から2016年にかけての年平均成長率（観光入込客数）

県内日帰り	県内宿泊	県外日帰り	県外宿泊	※ 訪日外国人	合計
+1.7%	-25.8%	+6.8%	-10.7%	+9.3%	+2.8%

※ 訪日外国人のみ'13年から'16年にかけての年平均成長率（'12年における日帰り客が未集計のため）

出典：「観光入込客統計調査」（埼玉県）

図6：埼玉県の旅行消費額



■2012年から2016年にかけての年平均成長率（旅行消費額）

県内日帰り	県内宿泊	県外日帰り	県外宿泊	※ 訪日外国人	合計
+12.8%	-22.1%	+21.4%	+4.0%	+11.6%	+14.7%

※ 訪日外国人のみ'13年から'16年にかけての年平均成長率（12年における日帰り客が未集計のため）

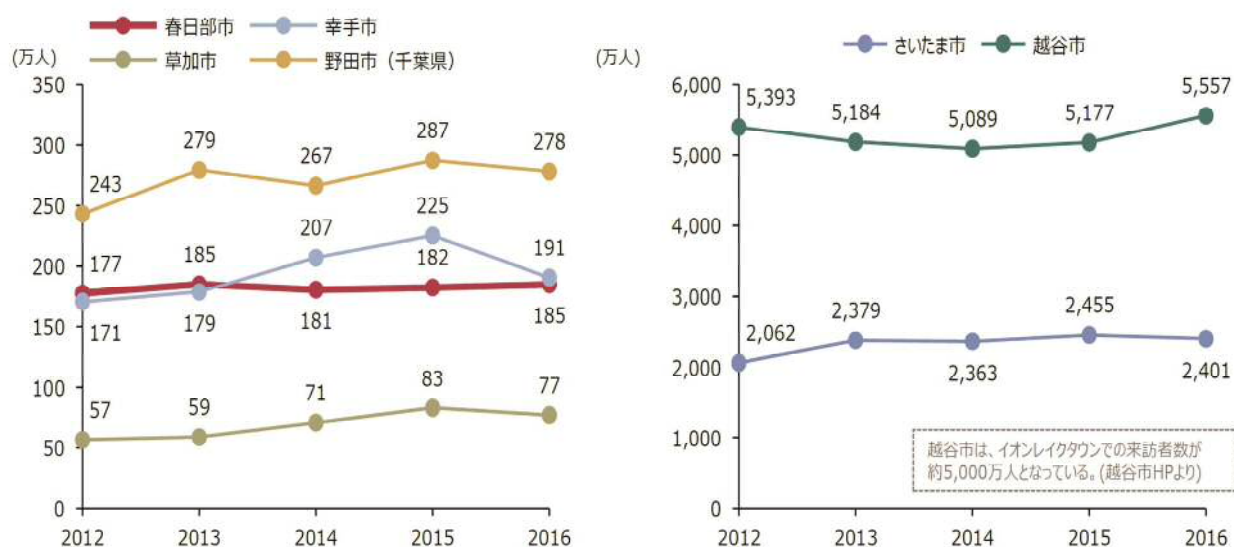
出典：「観光入込客統計調査」（埼玉県）

3. 春日部市周辺の観光の状況

本市の2016（平成28）年における観光入込客数は185万人です。

2012（平成24）年から2016（平成28）年にかけての成長率を近隣市と比較すると、本市はプラス1.1%とほぼ横ばいの状況の中、草加市（プラス7.8%）、さいたま市（プラス3.9%）、野田市（プラス3.4%）などは、堅調に入込客数を伸ばしています。

図7：春日部市と周辺市の観光入込客数



■ 2012年から2016年にかけての年平均成長率(観光入込客数)

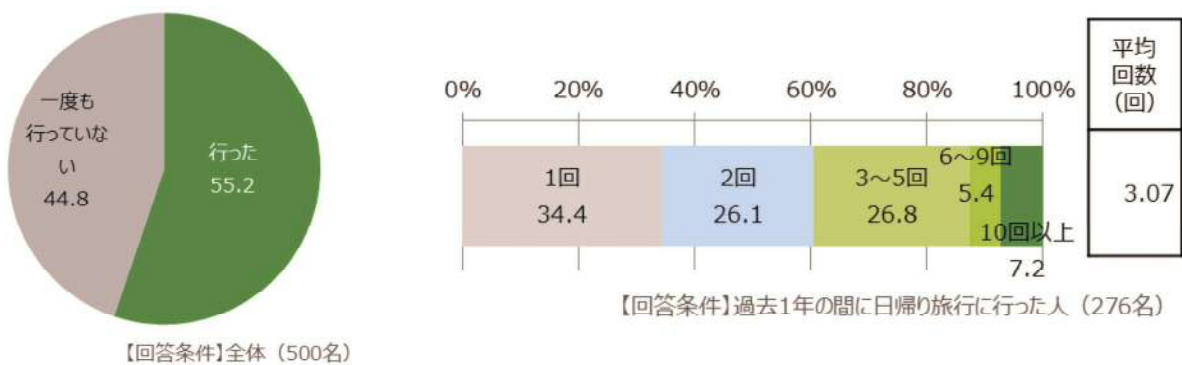
春日部市	さいたま市	越谷市	草加市	幸手市	野田市 (千葉県)
+1.1%	+3.9%	+0.8%	+7.8%	+1.9%	+3.4%

出典：「観光入込客統計調査」（埼玉県）、「千葉県観光入込調査報告書」（千葉県）

本市にとって最大の観光マーケットとなる首都圏に居住する消費者の日帰り旅行動向をみると、過去1年に6割弱が日帰り旅行に行ったと回答しています。
 旅行経験者における旅行回数は、「1回」が最も多く、これに「3～5回」が続き、平均値は3.07回となりました。

日帰り旅行にあたり楽しみにしていたことは、「観光施設・レジャースポットの見学」、「自然風景・景色の観賞」がやや突出しています。以下、「買い物・ショッピング」、「郷土料理・ご当地グルメ」、「温泉」までが20%を超えており、比較的期待されている要素と言えます。

図8：首都圏在住消費者の日帰り旅行経験（過去1年）



「春日部市観光に関するインターネット調査」(春日部市) 平成30年

表2：日帰り旅行先を訪れる際に楽しみにしていたこと（複数回答）

順位	項目	%
1	観光施設・レジャースポットの見学	42.8
2	自然風景・景色の鑑賞	38.4
3	買い物・ショッピング	27.5
4	郷土料理・ご当地グルメ	26.4
5	温泉	22.8
6	寺社・仏閣・旧跡の訪問	19.2
7	まち並み散策	14.1
8	ドライブ・ツーリング	12.7
9	写真撮影	12.0
10	アクティビティ・体験	11.6
	その他	22.7

「春日部市観光に関するインターネット調査」(春日部市) 平成30年

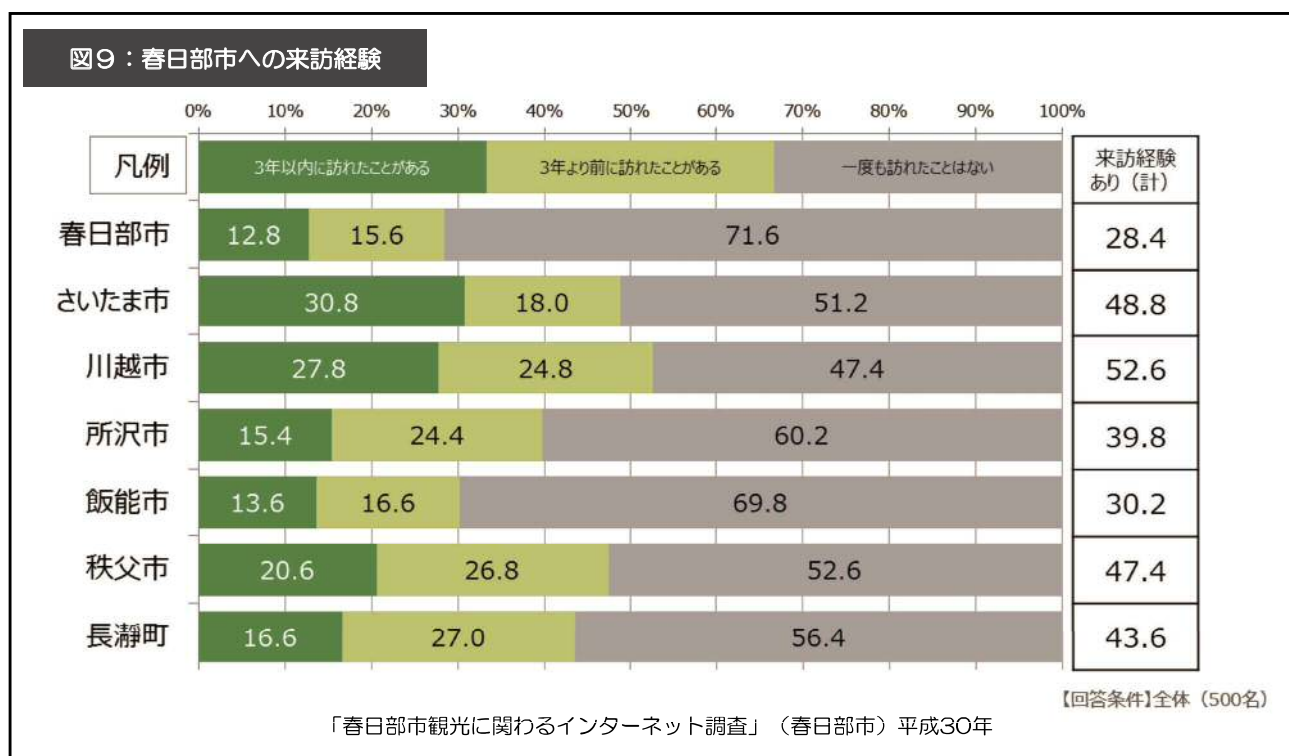
4. 春日部市の観光の状況

(1) 春日部市への来訪経験・意向、観光資源の認知度

① 春日部市への来訪経験

本市への過去3年間の観光・レジャー目的での来訪経験率は12.8%で、3年より前の期間も含めた来訪経験率は28.4%となりました。

いずれの数値も県内の観光地である6市町と比べて最も低い数値になっています。



【首都圏外郭放水路・地底探検ミュージアム「龍Q館」】

来訪経験者を居住地域別みると、県内在住者における本市の過去3年以内の来訪経験率は23.0%で、最も数値が高いさいたま市（50.0%）の半数以下となり、3年より前の期間も含めた来訪経験率も7市町の中で、本市は最も低い42.0%にとどまります。県外も含めて旅行先として「春日部市」は十分に浸透していないことが推察されます。

表3：春日部市への来訪経験（居住地域別）

（単位：％）

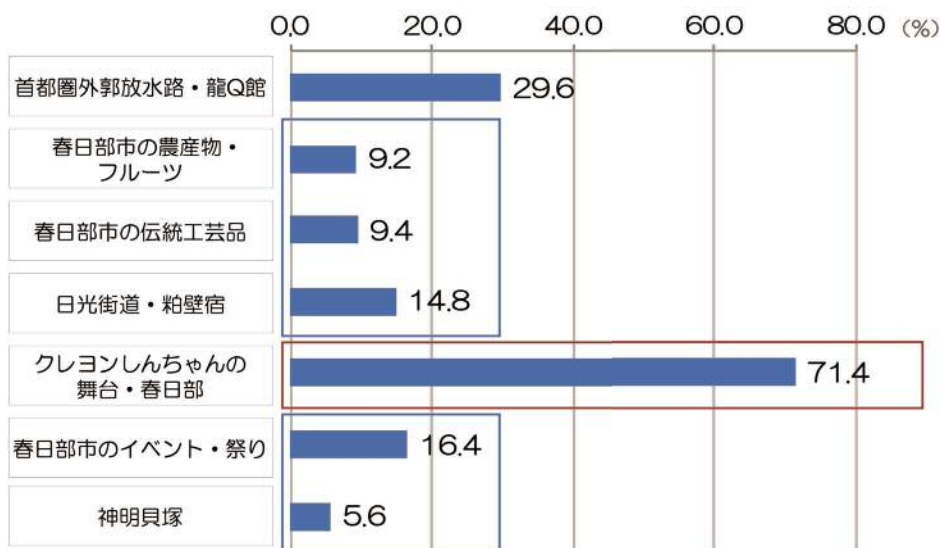
	3年以内に訪れたことがある			3年より前も含めて訪れたことがある		
	全 体	県内在住	県外在住 （東京・神奈川・千葉）	全 体	県内在住	県外在住 （東京・神奈川・千葉）
春日部市	12.8	23.0	6.0	28.4	42.0	19.3
さいたま市	30.8	50.0	18.0	48.8	66.0	37.3
川越市	27.8	46.5	15.3	52.6	72.5	39.3
所沢市	15.4	26.5	8.0	39.8	54.0	30.3
飯能市	13.6	25.0	6.0	30.2	47.5	18.7
秩父市	20.6	35.0	11.0	47.4	69.5	32.7
長瀬町	16.6	30.5	7.3	43.6	66.5	28.3

「春日部市観光に関わるインターネット調査」（春日部市）平成30年

②春日部市の各観光資源の認知度・興味関心度

本市の主要な観光資源の認知率は、「クレヨンしんちゃんの舞台・春日部」が認知率7割を超え非常に高いものの、そのほかの多くの資源が認知率2割以下となっています。

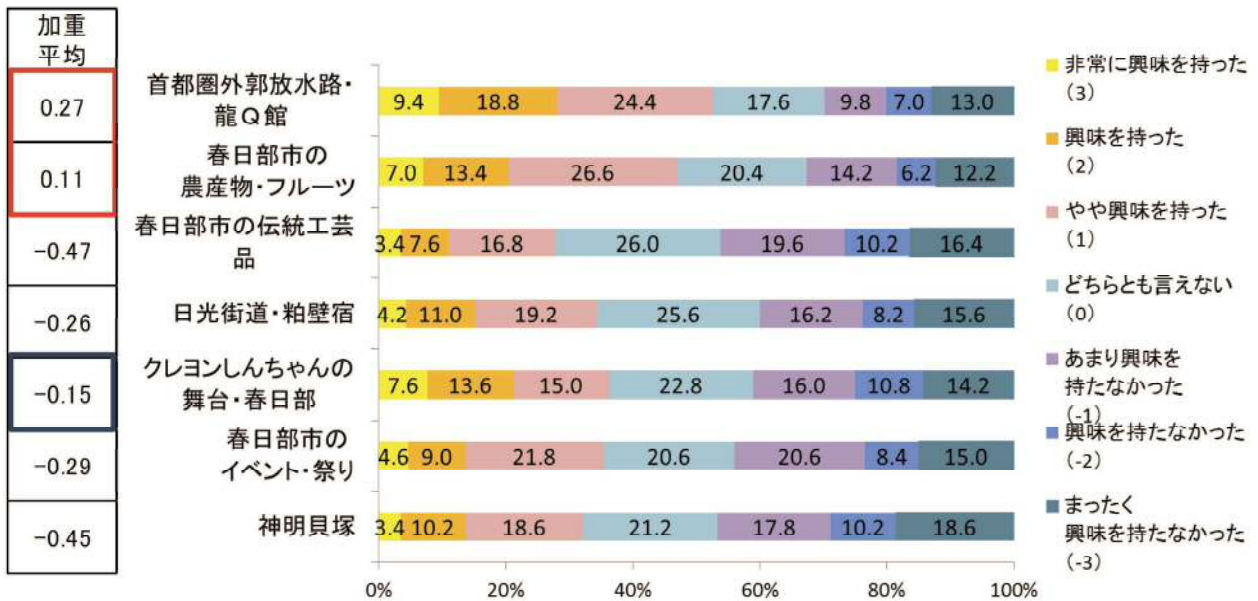
図10：春日部市の各観光資源の認知度



「春日部市観光に関わるインターネット調査」（春日部市）平成30年

主要な観光資源に対する興味関心度については、それぞれの観光資源に関する説明文を提示した後では、加重平均値*⑫で「首都圏外郭放水路・龍Q館」が最も高く、これに「春日部市の農産物・フルーツ」が続く結果となりました。「クレヨンしんちゃん」は、「非常に興味を持った」、「興味を持った人」の割合が7つの観光資源の中で相対的に高いものの、興味を持たなかった人の割合もまた高く、加重平均値では結果的にマイナスとなっています。

図11：春日部市の各観光資源の興味関心度



「春日部市観光に関わるインターネット調査」(春日部市)平成30年

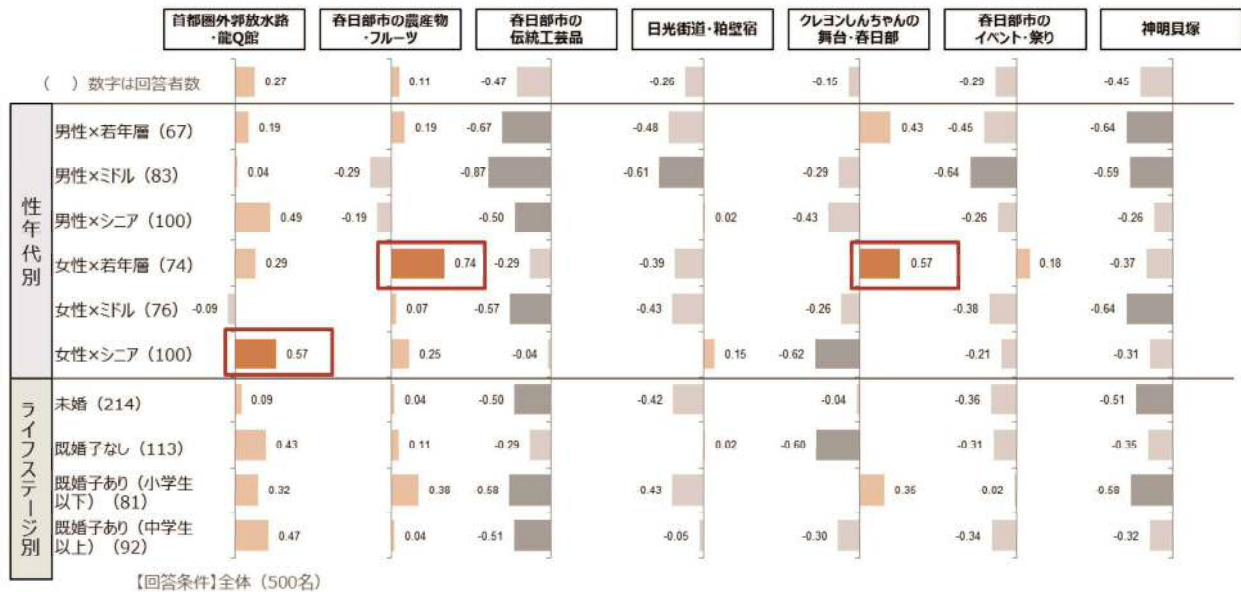
各資源の興味関心度の加重平均値を回答者の属性別に比較すると、「首都圏外郭放水路・龍Q館」は女性シニア、「春日部市の農産物・フルーツ」は女性若年層、「クレヨンしんちゃん」は男女若年層など、資源によって訴求可能な層が異なることがわかります。



【イチゴ農園】

*⑫ 加重平均値：平均する各項の条件の違いを考慮に入れ、対応する重み（大小）をつけてから平均することで、データに重要度をつけるときに行う。加重平均を用いた代表的な株価指数である「TOPIX（東証株価指数）」は、各銘柄の時価総額を反映させた方式で算出されており、時価総額の大きな銘柄の株価が10円動いた方が、時価総額が小さな（10分の1の）銘柄の株価が50円動いた場合よりも、指数に与える影響が大きくなる。

図12：春日部市の各観光資源の興味関心度 ※属性別加重平均



【回答条件】全体 (500名)

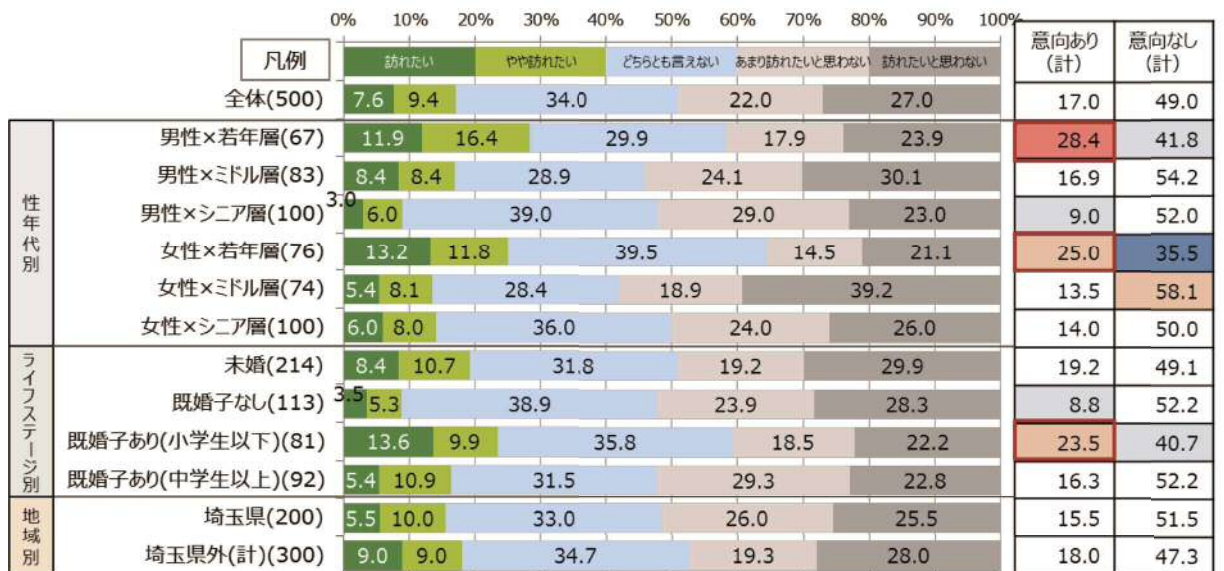
「春日部市観光に関するインターネット調査」(春日部市)平成30年

③ 春日部市への来訪意向

本市への来訪意向率《「訪れたい」、「やや訪れたい」》は17.0%で、来訪意向なし《「あまり訪れたいと思わない」、「訪れたいと思わない」》の49.0%を大きく下回ります。

回答者の属性別にみると、男女若年層(20~34歳)や小学生以下の子どもを持つ層において来訪意向率は20%を超えていますが、居住地域別の来訪意向では大きな差はみられません。

図13：春日部市への来訪意向



() 数字は回答者数

【回答条件】全体 (500名)

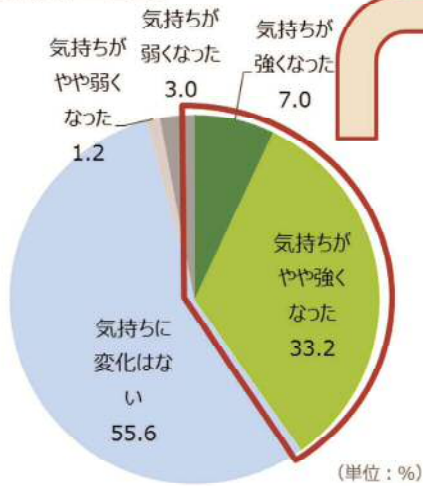
「春日部市観光に関するインターネット調査」(春日部市)平成30年

本市の観光資源の説明文を提示した後の来訪意向は、提示前の来訪意向（図13）で「どちらとも言えない」と回答した人の約4割が、また“来訪意向なし”《「あまり訪れたいと思わない」、「訪れたいと思わない」》と回答した人の約2割が、本市への来訪意向が高まりました。（図15上段）

来訪の意欲を後押しした観光資源をみると、すべての層で「首都圏外郭放水路・龍Q館」が第1位である一方、第2位以降の資源は分散しています。（図15下段）

図14：本市観光資源の説明文を提示後 ⇒ 春日部市への来訪意向の変化

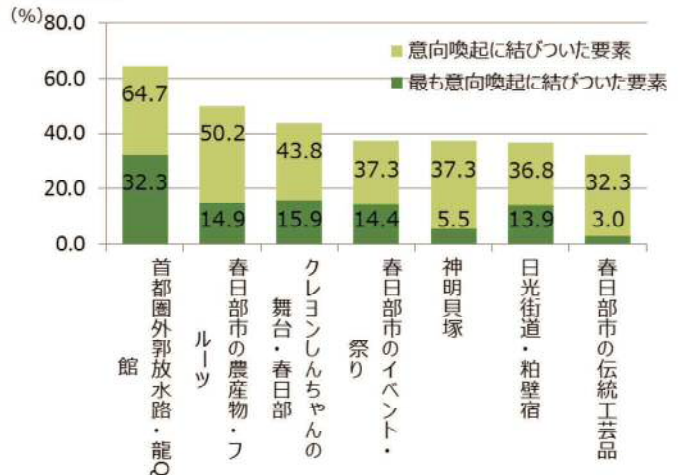
Q.これまでの春日部市の観光に関する各説明をお読みになり、春日部市を訪れてみたい気持ちに変化はありましたか。【単一回答】



【回答条件】全体（500名）

Q.春日部市を訪れてみたい気持ちが強くなったきっかけとなったものを以下の中からすべてお選びください。【複数回答】

またその中で最も強いきっかけとなったものをひとつだけお選びください。【単一回答】



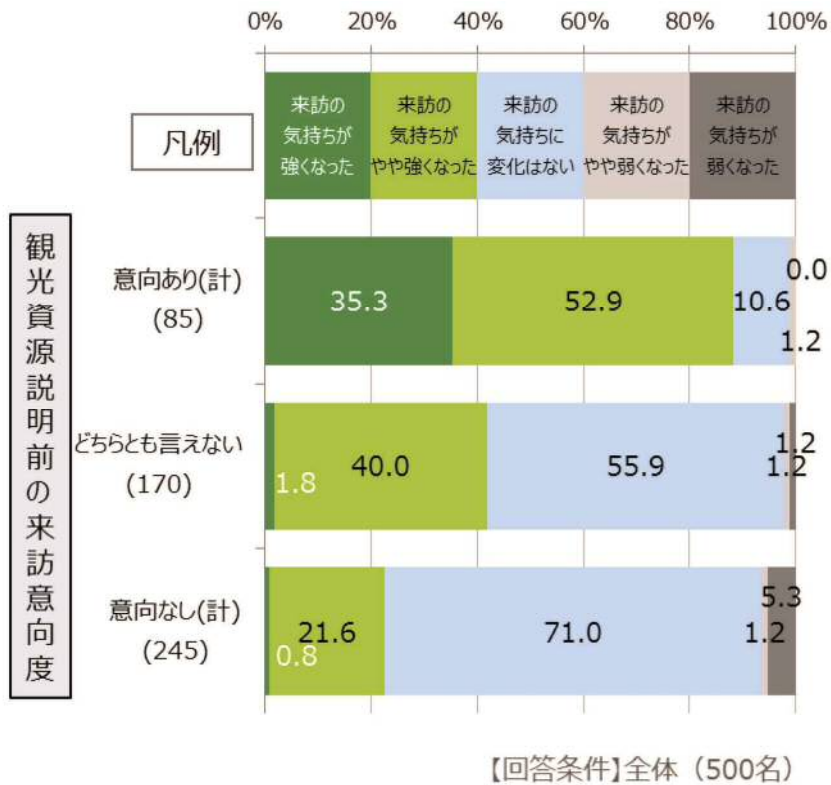
【回答条件】春日部市を訪れてみたい気持ちが強くなった、やや強くなった人（201名）

「春日部市観光に関わるインターネット調査」（春日部市）平成30年



【春日部のフルーツの一つであるブルーベリー】

図15：本市観光資源の説明文を提示後 ⇒ 春日部市への来訪意向の変化（説明前の来訪意向別）



■ 春日部市を訪れてみたい気持ちが強くなったきっかけとなったもの

	説明提示前の来訪意向度別		
	意向あり (計) (75)	どちらとも言えない (71)	意向なし (計) (55)
首都圏外郭放水路・龍Q館	70.7	59.2	63.6
春日部市の農産物・フルーツ	50.7	47.9	52.7
春日部市の伝統工芸品	36.0	31.0	29.1
日光街道・粕壁宿	42.7	38.0	27.3
クレヨンしんちゃんの舞台・春日部	64.0	32.4	30.9
春日部市のイベント・祭り	41.3	32.4	38.2
神明貝塚	44.0	32.4	34.5

【回答条件】春日部市を訪れてみたい気持ちが強くなった、やや強くなった人 (201名)

「春日部市観光に関するインターネット調査」(春日部市)平成30年